

小 おのまち

議会だより

155号

平成30年
8月10日発行



定例会6月会議

4 ページ 町政を問う!4人が一般質問

9 ページ 常任委員会活動報告

12 ページ 追跡!あの一般質問を検証

15 ページ グループ紹介
小野町交通安全母の会連絡協議会

2連覇達成!! 第7回福島県消防協会田村支部消防操法大会

定例会6月会議

6月13日～20日

平成30年小野町議会定例会6月会議は、6月13日から20日まで8日間の日程で開かれました。

会議では、平成30年度一般会計補正予算、条例の一部改正など5件の町長提出議案と、議員提出議案2件が提出され、議案は6件が全員賛成で原案のとおり可決、1件が賛成少数で否決となりました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考え方をただしました。



▲本会議の様子

2億1218万2千円追加する補正予算を可決

一般会計の歳入歳出それぞれ2億1218万2千円追加し、総額55億8318万2千円とするものです。

【主な補正内容】

◆歳入

項目	補正額
社会資本整備総合交付金 (小野公園施設修繕事業)	2100万円
石油貯蔵施設立地対策等交付金	81万円
福島県地域創生総合支援事業県補助金	△324万円
福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金	1億8501万円
コミュニティ助成事業助成金	250万円

◆歳出

項目	補正額
コミュニティ助成事業助成金	250万円
定住推進事業補助金	50万円
地域医療介護総合確保事業補助金	1億8501万円
プレミアム商品券発行事業補助金	720万円
飲用水確保対策事業補助金	600万円

次の条例の一部が改正されました。
地方税法等の一部を改正する法律が公布され段階的に施行されることに伴い、所要の改正を行つものであります。

◆小野町税条例等

条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う国民健康保険税の賦課限度額の引き上げ、軽減対象世帯の範囲の拡大など、所要の改正を行つものであります。改訂を行つものであります。

◆小野町国民健康保険税条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い放課後児童支援員の基礎資格についての規定など、所要の改正を行つものであります。改訂を行つものであります。

人事案件

人権擁護委員候補者を適任と認定

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための人権擁護委員の候補者に、佐藤文子氏(夏井)を推薦したいとして、議会に意見を求められたことから、全員一致で推薦は適任と判断したものです。

◆小野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

・賛成が「○」、反対は「×」と表示しています。
・村上昭正議長は採決に加わりません。定例会6月会議の初日は、村上議長が欠席により吉田副議長が議長の職務を代行したため、採決に加わっていません。
・佐藤登議員は、7月第1回会議に欠席のため、採決に加わっていません。

審議した議案と各議員の賛否

議案名	可否	渡邊直忠	会田明生	竹川里志	宗像芳男	田村弘文	籠田良作	水野正廣	遠藤英信	久野峻	佐藤登	吉田康市
平成30年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
おのまち「農業のまちづくり」条例について	否決	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会資本整備総合交付金事業小野公園園路補修工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します
「会議録」をご覧ください。(8月下旬掲載予定)

会田 明生 議員 5ページ

- 1 学校跡地の活用について
 - ・校舎等の活用策について
- ◆ 2 広域交流について
 - ・連携・交流自治体との日常的取り組みについて
- ◆ 3 町の広報戦略について
 - ・施策・事業等の町内外への発信について

渡邊 直忠 議員 6ページ

- 1 働き方改革について
 - ・長時間労働の是正・雇用形態に関わらない公正な待遇の確保について
 - ・小野町の職員の現状について
- 2 今後的小野町農業の振興について
 - ◆ ・農地中間管理機構関連農地整備事業の活用について
 - ・収入保険制度の活用について
 - ・多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援について
 - ・農業人材力強化総合支援事業・経営体育成支援事業の活用について
- ◆ 3 小野町地域農業再生協議会の活用について
 - 4 総務省30年度予算について
 - ・過疎対策について
 - ・ローカル10,000プロジェクトについて
 - ・ふるさと納税活用による事業化について
 - 5 国交省30年度予算について
 - ・「若者・子育て世帯」「高齢者世帯」が安心して暮らせる住まいづくり及び「ICT等」小さな拠点づくりについて
 - ・歴史や景観等を活かしたまちづくりについて

竹川 里志 議員 7ページ

- 1 小野町交流・定住支援館について
 - ・取得するまでの経過について
 - ・小野町交流・定住支援館の活用について
- ◆ 2 シニア世代の健康について
 - ・高齢者の健康維持の対策について
 - ・健康寿命を延ばす環境整備について

田村 弘文 議員 8ページ

- 1 一般行政について
 - ・小野町公共施設等総合管理計画(案)を策定した経緯について
 - ・計画期間中に見込まれる施設の更新、修繕に必要な経費と財源確保について
- ◆ 2 今後計画されている、新規の公共施設の取得・投資額について
 - ・各行政区にある集会施設について
- 2 教育行政について
 - ・新教育委員会制度移行に伴う教育委員会の運営について
- ◆ 3 小野町の教育大綱の策定について
 - ・総合教育会議の公開及び会議議事録の公表について
- 3 一般行政について
 - ・町民に見える町政運営について



広域交流について



定期的な情報収集及び発信に取り組む

情報等の交
には、日常的
にヒト、モノ、
そのため
には、そこ
に感じ
ることが重
いです。そ
れを身
の地域や
のイベントや
事業実施時
の参加が主
となつてい
ます。



荒川区「川の手荒川まつり」で小野町の特産品をPR



4月から開設された小野町公式フェイスブック



会田 明生 議員

現在の交
流は、お互
いのイベントや
事業実施時
の市町村等と様々な
連携・交流を行ってい
ます。

町長 多くの自治体
や民間団体と交流や
連携を図っています
が、事業の効果をより
上げるために、交流団体
に関する情報を定期
的にお知らせするな
ど、情報収集及び発信
に取り組みます。

問 小野町の情報を
町内外に発信するこ
とは、町外の方に小野
町を知つてもらう、足
を運んでもらう、「きっ
かけ」のみならず、住
んでいる人(町出身者
も)にとっても、地域を
見つめなおす「きっかけ」
にもなると思います。

町長 4月から町の
公式フェイスブックの
開設、5月からは小野
町交流・定住支援館内

そのためには、戦略
的な広報、シティプロ
モーションの取り組み
が必要ではないでしょ
うか。

に移住・定住等の情報
発信拠点として「つ
どつておののまち」を設
け、必要な情報を必要
な人にタイムリーに
発信できるよう心が
けているところです
が、先進事例の情報
収集や職員の意識改
革も進めて参ります。

答 先進事例の情報収集や
職員の意識改革を進めて行く



シニア世代の健康について



ヘルスアップ運動教室などを進めている

再質問 ヘルスアップ教室や介護予防な



介護予防運動教室 元気が~い



竹川 里志 議員

問 高齢者の健康維持対策について町の現在の取り組みについて伺います。

答 町長 町では高齢者の健康維持と介護予防を目的としまして、ヘルスアップ運動教室と介護予防運動教室「元気が~い」を開催しております。今後も様々な機会を捉えまして、高齢者の皆様の健康維持につながるような事業の推進を図つてまいります。

問 健康福祉課長 ヘルスアップ運動教室は毎月3回実施し、53名の方が参加しております。参加人数は増加傾向にあります。

答 介護予防運動教室 どの参加者の状況などについて伺います。

問 健康福祉課長 「元気が~い」は、平成29年度までに本町行政区など11行政区で設立され、各地区15名前後の参加者で活動されております。今年度は、3行政区での新規実施を予定しています。

問 町長 右支夏井川河川改修事業では、河川敷を利用したウォーキングロードの整備などについて検討が行われていますが、その他の地域における河川敷山林等を活用した運動施設の整備については、総合的に勘案し、検討してまいります。

再質問 町長 整備されている所はそこを利用していただいて、そういう所は歩道や農道なども利用しながら、そしてサイクリングロードや遊歩道とか、とにかくというようなことをなれば、また考えたいと思います。



農地中間管理機構関連農地整備事業の活用について



適している地域があれば支援する



渡邊 直忠 議員

問 農地の集積・集約を加速するためにも基盤整備事業は必要で、町の積極的姿勢が望まれます。活用すべき事業として「農地中間管理機構関連農地整備事業」があります。内容としては農地中間管理機構が借り入れている農地について農業者からの申請・整備事業でゼロです。この事業を活用すべきと思いますが、町長の見解を伺います。



基盤整備事業により整備された農地

町長 今後、基盤整備事業を検討している地区と協議し、活用が適している場合には積極的に支援し基盤整備を推進したいと考えております。

常任委員会活動報告

平成30年度重点事業調査

目的

平成30年度の所管課の重点事業を調査し、委員会活動に反映させ、確実な事業遂行に寄与することを目的に実施しました。

総務文教常任委員会



▲総務文教常任委員会重点事業調査の様子



籠田 良作 委員長

問	企画政策課	総務課	町民生活課	教育課
問	定住促進については、様々なメディアを活用し、観光分野とも連携して欲しい。	建設「まちなか」を軸に検討のことだが、中心部を想定か。	役場庁舎整備推進事業について、委託先はどのように想定か。	紫波町で子どもの図書・新聞に関する研究作品の展示を行っていた。参考にしては。
答	メディア発信について、検討・実施していく。	建設「まちなか」を軸に検討するが、機能面を考慮しながら検討する。	既存企業について、就業を促したい。新たな企業誘致については、学校施設や敷地等の活用も検討したい。	先進事例を学んで検討して行きたい。
問	家庭での栄養管理の適切な意識付けは。	防火水槽の新設と旧小戸神小のプール解体との調整は。	グラウンドに防火水槽を設置後にプールを解体する。	栄養教諭を中心給食担当者会議で情報共有し、適切な栄養指導を行う。
答	紫波町で子どもの図書・新聞に関する研究作品の展示を行っていた。参考にしては。	既存企業について、就業を促したい。新たな企業誘致については、学校施設や敷地等の活用も検討したい。	既存企業について、就業を促したい。新たな企業誘致については、学校施設や敷地等の活用も検討したい。	先進事例を学んで検討して行きたい。

問 新規の公共施設の取得・投資額について

答 総額で64億円を見込んでいる

公共施設等検討委員会から提言された公共施設の庁舎・保健センター・温浴交流施設等の単独または複合施設としての建設、本格的に始動している認定こども園、さらに32年度に統合いたします。統合小学校の建設、小野インター周辺の開発等、大型案件の取得・投資が計画されています。

施設の取得及び投資をするために、現時点でのぐらいの金額が想定されるのか、伺います。

財源を確保していくか。については、国県支出金や起債の活用、あるいは、公共施設等建設準備基金の取り崩しを行い、純粋な般財源をなるべく少なくするようになっておりま

す。

再質問 どのようなに財源を確保していくのか。
答 どのように財源を確保していくのか。この教育大綱が新たに策定されるのが伺います。

町長 推定される費用は、試算事業費で総額64億円となる見込みです。財政負担の平均化に配慮しつつ、実現可能なものから進めさせていたいと考えております。



田村 弘文 議員

町長 推定される費用は、試算事業費で総額64億円となる見込みです。財政負担の平均化に配慮しつつ、実現可能なものから進めさせていたいと考えております。

町長 新しい教育委員会制度では、首長が教育に関する大綱を策定することとなっています。この教育大綱が新たに策定されるのが伺います。

町長 総合教育会議において教育委員会と協議・調整し、地方公共団体の既存計画をもって大綱に代えることと判断した場合は、別途、策定する必要はない」ととされています。

当町においては、平成30年4月に新たな町の総合計画である「未来へ おのまち総合計画」のうち、関連



「未来へ おのまち総合計画」



町長 私は教育充実というのは、やはり児童生徒の体力、健康維持に属するものは当然、学力の向上、体力の向上をいろいろ図つていくことだと考えております。

町長 新しい教育委員会制度では、首長が教育充実大綱としたものであります。

再質問 町長が目指す教育の充実とはどうなことか伺います。

9

●●主な質疑●●

答 本年5月より夜間救急外来を開始しているが、あくまでも救急患者を対象としたものである。

問 認定こども園の地質調査が終了したが、調査の結果についての対応は。

答 支持地盤までコンクリートパイルを打つ等、最良の方法で対応する。



田村 弘文 委員長

子育て支援課

答 本年5月より夜間救急外来を開始しているが、あくまでも救急患者を対象としたものである。

問 水田農業振興事業の新規事業である飼料用米に対する補助の見込みは。

答 水質検査にかかる費用は1件あたり6000～7000円程度であり、費用の2分の1以内で上限3000円助成する。

地域整備課

問 飲用水確保事業において、自家水源の水質検査の費用はどの程度かかるのか。

厚生産業常任委員会



▲厚生産業常任委員会重点事業調査の様子

全体研修レポート

研修先…沖縄県石垣市、宜野座村
実施期日…平成30年7月3日～6日

1 石垣市長、石垣市議会議長表敬訪問について

2 八重山農林高校表敬訪問について

3 宜野座村「村営塾の運営について」

まつた授業が行われていますが、その他の学年は、集中できていない状況があるとのことでした。そのため、成績上位の子供たちは勉強する環境にないということです。別な塾に入数の設定について見直しの必要もあるとのことで検討しているとのことです。

また、授業が行われていますが、その他の学年は、集中できていない状況があるとのことで、別な塾に入数の設定について見直しの必要もあるとのことで検討しているとのことです。

まつた授業が行われていますが、その他の学年は、集中できていない状況があるとのことで、別な塾に入数の設定について見直しの必要もあるとのことで検討しているとのことです。

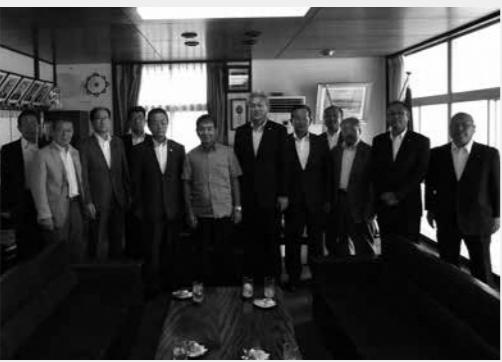
まつた授業が行われていますが、その他の学年は、集中できていない状況があるとのことで、別な塾に入数の設定について見直しの必要もあるとのことで検討しているとのことです。

まつた授業が行われていますが、その他の学年は、集中できていない状況があるとのことで、別な塾に入数の設定について見直しの必要もあるとのことで検討しているとのことです。

まつた授業が行われていますが、その他の学年は、集中できていない状況があるとのことで、別な塾に入数の設定について見直しの必要もあるとのことで検討しているとのことです。



▲中山石垣市長との懇談の様子



▲知議長訪問



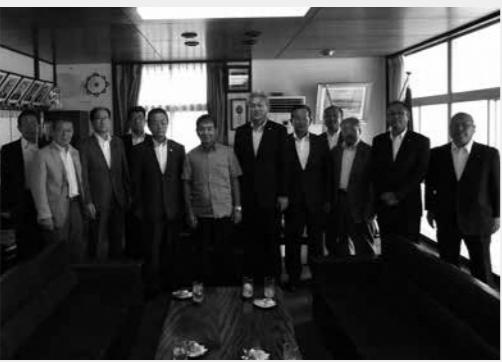
▲八重山農林高校のマンゴー栽培ハウスの視察



小野町議会議長 村上 昭正



▲中山石垣市長との懇談の様子



▲知議長訪問



▲八重山農林高校のマンゴー栽培ハウスの視察



始めて、中山義隆石垣市長を訪問し、懇談しました。小野町との交流関係については、八重山農林高校と小野高校との交流事業等に対する御礼、継続と石垣市との交流の実施に向けた中山市長の小野町訪問について、依頼をして懇談を終了しました。

次に、知念辰憲議長を訪問し、懇談しました。福島県内では、過去に矢祭町の行財政改革に関する調査

のため、訪れたことがあるとのことでした。小野町への訪問を依頼して懇談を終了しました。

山城聰校長外2名で対応していました。広報おのまちが毎月送られてくるが、小野高校を紹介するページがありうらやましいと思うことでした。

次に、知念辰憲議長を訪問し、懇談しました。福島県内では、過去に矢祭町の行財政改革に関する調査

小渡久和議長、志良堂芳男教育長外4名に対応していました。村営塾「21世紀みらい」は、宜野座高校の魅力アップや特進クラス設置に伴う学力向上による国公立大学への進学率アップのため、平成21年6月に村営学習塾設置条例が可決され、中高一貫した学習支援体制を田指すこととなりました。

高校3年生は、受験のため引き締めの課題としては、中学3年生といふ内容でした。

高校3年生は、受験のため引き締めの課題としては、中学3年生といふ内容でした。

問 公立小野町地方総合病院で夜間診療を開始したとなるが、町民も受診できるのか。

健康福祉課

答 駐車場の確保、進入路はロータリー型が望ましい、建物の構造等にぬくもりを感じる施設にして欲しい等の意見が出された。

問 第1回検討委員会で話し合われた内容は。

答 作付面積を15haと見込んで計画を立てている。現段階では面積は確定していない。

問 発酵によるまちづくり事業に町としてもつと積極的に取り組むべきではないか。

答 昨年度、郡山女子大学に小野町の農作物をつかった発酵食品の開発を委託するなど取り組んできた。今年度は、製造・販売に向け取り組んで行きたい。

問 公営住宅の長寿命化事業では、室内の改装までは行わないのか。

答 内装のリニューアルも検討している。事業費や家賃設定の問題があり、入居者間で不公平感が出ないような対応も必要である。

問 水田農業振興事業の新規事業である飼料用米に対する補助の見込みは。

答 作付面積を15haと見込んで計画を立てている。現段階では面積は確定していない。

問 水質検査の分析項目は。

答 水質検査にかかる費用は1件あたり6000～7000円程度であり、費用の2分の1以内で上限3000円助成する。

問 飲用水確保事業において、自家水源の水質検査の費用はどの程度かかるのか。

答 水質検査にかかる費用は1件あたり6000～7000円程度であり、費用の2分の1以内で上限3000円助成する。

地域整備課

答 本年5月より夜間救急外来を開始しているが、あくまでも救急患者を対象としたものである。

問 飲用水確保事業において、自家水源の水質検査の費用はどの程度かかるのか。

答 水質検査にかかる費用は1件あたり6000～7000円程度であり、費用の2分の1以内で上限3000円助成する。

おわびと訂正

おのまち議会だより154号の6ページの「産業振興課」は「子育て支援課」の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

議会活動トピックス

町村議会広報研修会に参加（5月23日）

広報広聴特別委員会は、福島県町村議会議長会主催の広報研修会に参加しました。「読まれる議会だよりの編集と表現のポイント」をテーマにした講義を受けました。この研修の成果を活かし、読者目線の広報紙作成に取り組んでいきます。



議会広報研修会で広報紙作成の講義を受ける

予算決算常任委員会現地調査（5月31日）

予算決算常任委員会では、主要事業の現地調査を行いました。事業の概要や進捗状況などについて、担当課より説明を受け、現地を確認しました。



林業専用道整備事業の上合内大平線の調査状況



過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

雇用確保対策について

質問

現在、町内立地企業、事業所においては、雇用人材不足の解消が喫緊の課題となっておりますが、町としてはどのような支援策を考えているのか町長に伺います。

(平成29年定例会9月会議)

答弁

雇用に関しては、事業所支援から就業者への支援に切りかえる制度見直しを検討しています。

また、小野高校生の町内企業への就職促進のため、合同企業説明会の開催や従業者の住居確保のため、旧アルパイン寮の一部を企業向けに貸し出すことも検討しております。

その後

町は、町内に立地する企業の雇用確保に関し、次のとおり平成30年度新規事業を開始しました。

まず、新卒者の町内企業就業を奨励する制度を始めています。これは新卒者が町内企業に1年以上継続して就業した場合、奨励金を交付するものです。

次に、高校生の町内企業への就職を促進するため、高校3年生を対象とした合同企業説明会を6月に開催しました。町内企業6社が参加しました。今年12月にも高校1、2年生を対象に開催する予定です。

最後に、旧アルパイン寮は小野町交流・定住支援館として生まれ変わり、4階の10室を企業向けに貸出しています。



▲町内企業6社による小野高校生への合同企業説明会

グループ紹介

小野町交通安全母の会連絡協議会

日頃より当協議会の交通安全対策事業にご協力をいただき誠にありがとうございます。

当協議会は子どもやお年寄りをはじめとした地域の皆様への交通安全運動を推進し、交通道徳の向上と交通事故防止に寄与することを目的に活動しております。

最近では車両周辺の確認不足による自宅敷地内での子どもを巻き込む事故や、お年寄りのアクセル踏み間違いが原因の暴走事故などが急増しています。

当協議会ではこのような痛ましい事故を一件でも無くすべく、夏休み期間中の交通安全映画教室や、小町ふれあいフェス夕開催時の交通遺児募金活動などの各種事業を通して、地域の皆様へ交通安全意識の高揚を図っているところです。

今後におきましても、「交通安全は家庭から」をモットーに各種活動に取り組んで参りますので、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



会長 佐久間 杉子さん

会員数:2,100名
(26行政区)

発足:昭和47年



小野新町小学校での春の交通安全運動啓発活動

議会からのお願い

議会だよりの取材のため皆さんとのところにお伺いします。
写真撮影などのご協力をお願いします。

議会活動日誌

5月

- 3日 リカちゃんキャッスル25周年記念セレモニー
8日 小野町老人クラブ連合会通常総会
10日 企業対策特別委員会／月例全員協議会／広報広聴特別委員会
12日 夏井第一小学校運動会
13日 小野町交流・定住支援館オープニングセレモニー
18日 第59回小野町商工会通常総代会
19日 飯豊小学校運動会／浮金小学校運動会／小野新町小学校運動会
20日 ふるさと小野町会総会(埼玉県)
21日 各課重点事業調査(総務文教・厚生産業常任委員会)
23日 町村議会広報研修会(郡山市)
24日 田村広域行政組合議会臨時会(三春町)
25日 例月出納検査／第45回小野町更正保護女性会定期総会
小野町水防協議会／田村地区交通安全協会定期総会(田村市)
27日 高柴山山開き
28日～29日 全国町村議会議長・副議長研修(東京都)／田村地方植樹祭(三春町)
29日～30日 全国町村議会議長会都道府県会長会(宮城県)
31日 予算決算常任委員会現地調査

6月

- 2日 矢大臣山山開き
4日 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)
8日 議会運営委員会／全員協議会
10日 第69回全国植樹祭(南相馬市)
13日～20日 小野町議会定例会6月会議
17日 第14福島県消防協会田村支部幹部大会(田村市)
20日 月例全員協議会
22日 平田村議会との交流会
25日 例月出納検査
27日～29日 北海道・東北町村議会議長会会長会議(福島県・山形県)

7月

- 2日 郡山地方広域消防組合臨時議会(郡山市)
3日～6日 議会全体研修(沖縄県)
11日 小野町交通対策協議会／小野町青少年育成町民会議総会
県事業要望活動(福島市)／公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
12日 月例全員協議会／第9回安全・安心でおいしい地下水サミット(平田村)
18日 生涯学習講演会
19日 全国町村議会議長会都道府県会長会議(東京都)
20日 田村地方市町議会議員研修会(三春町)
23日 例月出納検査
23日～25日 決算審査(現地調査)
24日～25日 田村広域行政組合行政調査(岩手県)
24日 オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議(福島市)
26日 小野町戦没者追悼式／議会運営委員会／全員協議会
小野町議会7月第1回会議
28日 こまちダムまつり
31日～8月1日 郡山地方広域消防組合行政調査(東京都)

平成
10年
8月
10日
発行

1
5
5
号

発行者／福島県小野町議会
編集／広報広聴特別委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻
0247-72-2111
192

議会からの お知らせ

定例会9月会議は 9月6日(木)から開会します。

一般質問は9月7日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!



※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

議会議員の新盆に際しての「ご仏前(金品)」持参については、
公職選挙法の関係で自粛しておりますので、皆様のご理解をよろしくお願いします。

小野町議会

【広報広聴特別委員会】

委員長 遠藤 英信
副委員長 吉田 康市
委員 佐藤 登
委員 水野 正廣
委員 宗像 芳男
委員 竹川 里志
委員 渡邊 直忠
オブザーバー 村上 昭正

● あとがき ●

今年の夏は猛暑の連続です。
体調の維持管理にご苦労をされている
ことでしょう。最大限の暑さ対策を行い、
熱中症に気を付けてください。
議会だよりも155号の発行となりました。
町民の皆様に議会への感心を持つて
ただくために、議会の広報広聴活動を充
実するよう努めてまいります。
皆様のご意見、ご提言をお待ちしてい
ます。

小野町消防団が田村支部消防操法大会
ポンプ車操法の部で優勝し、2連覇を達
成しました。県大会でのご活躍を期待し
ています。

表紙の写真



この印刷物は、FSC®の基準に従って
認証された適切に管理された森からの
木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページも
ご覧ください